

# アビリンピック熊本大会 練習問題

ワード・プロセッサ

課題 1 書簡文書作成

# 令和7年度 アビリンピック熊本大会 ワード・プロセッサ 課題

<課題1>書簡文作成競技（「どんぶリアワード2025」）（制限時間 45分）

ファイル「01」を開き、以下の設問に従い、A4縦1枚に収まるように別紙の文書を作成しなさい。  
1行目に競技者氏名を入力すること。

作成した文書は、必ずデスクトップ上の『ワープロ競技〇〇（〇〇は番号）』フォルダに『WPS2』というファイル名を付けて保存すること。

文書内の英数字、記号は、特に指示のない限りすべて全角とすること。

なお、作成例の文中の□は空白行を意味するので□を入力する必要はありません。

【設問1】 ページ設定	<u>余白：上下左右それぞれ20mm</u> <u>文字数：40字</u> <u>行数：40行</u>
【設問2】 書式設定	「～グルメフェスタ第2弾～」 <u>フォント：MSゴシック</u> <u>フォントサイズ：12pt</u> <u>文字配置：中央揃え</u>
【設問3】 書式設定  段落に 罫線を設定  段落に 網掛けを設定	「どんぶリアワード2025」 <u>フォント：HG創英角ポップ体</u> <u>フォントサイズ：20pt</u> <u>フォントの色：濃い青</u>  <u>罫線の種類：影</u> <u>線の種類：実線</u> <u>線の太さ：1.5pt</u>  <u>網掛け：背景の色 薄い緑系</u>
【設問4】 図形の挿入	「どんぶリアワードの弁分類」の説明枠は、図形を用いて作成 (大きさは完成例の行数を参照すること)  <u>図形の種類：四角形：対角を切り取る</u> <u>図形のスタイル：グラデーション-オレンジ、アクセント2</u>

<p>【設問5】</p> <p>書式設定</p>	<p>「どんぶりアワードの丼分類」を図形内に入力</p> <p>フォント：<u>HG丸ゴシックM—PRO</u>  <u>フォントサイズ：16</u>  <u>太字・斜体</u>  <u>フォントの色：黄色</u>  <u>図形内の文字の配置：上揃え</u></p> <p>「上記の個性豊かな「どんぶり」が多数参加！！」を、テキストボックスで配置</p> <p>フォント：<u>MS明朝</u>  <u>フォントサイズ：10.5pt</u></p>												
<p>【設問6】</p> <p>図形の挿入</p> <p>書式設定</p>	<p>「どんぶりアワードの丼分類」の説明枠内に図形を4つ作成し配置</p> <p>図形の種類：<u>四角形：対角を切り取る</u>  <u>サイズ：縦を45mm程度、横を40mm程度</u></p> <p>塗りつぶし、文字入力：</p> <table border="0"> <tr> <td><u>1つ目</u></td> <td><u>パステルオレンジ、アクセント2</u></td> <td><u>あか牛丼</u></td> </tr> <tr> <td><u>2つ目</u></td> <td><u>パステルゴールド、アクセント4</u></td> <td><u>海鮮丼</u></td> </tr> <tr> <td><u>3つ目</u></td> <td><u>パステル青、アクセント5</u></td> <td><u>天丼</u></td> </tr> <tr> <td><u>4つ目</u></td> <td><u>パステル緑、アクセント6</u></td> <td><u>カツ丼</u></td> </tr> </table> <p>文字の配置：<u>1つ目～4つ目を 上揃え</u></p>	<u>1つ目</u>	<u>パステルオレンジ、アクセント2</u>	<u>あか牛丼</u>	<u>2つ目</u>	<u>パステルゴールド、アクセント4</u>	<u>海鮮丼</u>	<u>3つ目</u>	<u>パステル青、アクセント5</u>	<u>天丼</u>	<u>4つ目</u>	<u>パステル緑、アクセント6</u>	<u>カツ丼</u>
<u>1つ目</u>	<u>パステルオレンジ、アクセント2</u>	<u>あか牛丼</u>											
<u>2つ目</u>	<u>パステルゴールド、アクセント4</u>	<u>海鮮丼</u>											
<u>3つ目</u>	<u>パステル青、アクセント5</u>	<u>天丼</u>											
<u>4つ目</u>	<u>パステル緑、アクセント6</u>	<u>カツ丼</u>											
<p>【設問7】</p> <p>画像の挿入</p>	<p>デスクトップ上の素材フォルダから、画像</p> <p>「akaushidon.png」「kaisendon.png」「tendon.png」「katsudon.png」を選んで挿入し、作成例を参照して配置</p>												
<p>【設問8】</p> <p>表の書式設定</p>	<p>表全体の設定</p> <p>フォント：<u>MSゴシック</u>  <u>表の罫線（外枠）：二重線</u>  <u>1列目塗りつぶし：灰色系</u></p> <p>表部分の「開催日」「開催時間」「実施場所」「公式HP」の文字</p> <p>文字の均等割り付け：5字、<u>文字配置：上揃え中央</u></p>												
<p>【設問9】</p> <p>書式設定</p>	<p>「※雨天実施予定ですが～」からの2段落</p> <p><u>左インデント：4字</u></p>												
<p>【設問10】</p> <p>書式設定</p>	<p>「お問い合わせ」</p> <p>フォント：<u>MSゴシック</u>  <u>フォントサイズ：12pt</u>  <u>文字書式：囲み線</u>  <u>スタイル：太字、斜体</u></p>												

以上の設問に指示されていない事柄については、作成例（次ページ）を参考にし、同じイメージになるように作成すること。

書簡文書素材 (図)

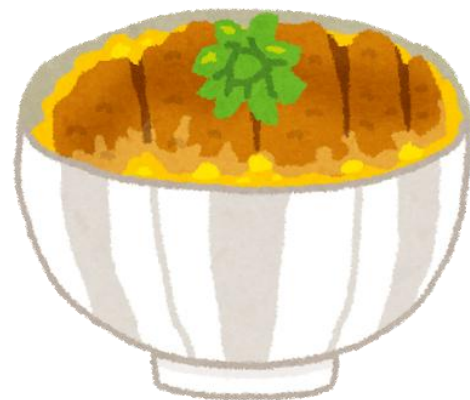
ファイル名 『akaushidon. png』

ファイル名 『kaisendon. png』



ファイル名 『tendon. png』

ファイル名 『katsudon. png』



競技者氏名

□

～グルメフェスタ第2弾～

## どんぶりアワード2025

□

グルメフェスタ第1弾「麺アワード2024」の開催に続き、「くまもと街なか広場」にてグルメフェスタ第2弾「どんぶりアワード2025」を開催します。

丼のおいしさの要である“お米”も見逃せません。県産の甘くてもちもちとした炊きたてご飯に、お肉やお魚など、地元の特産を使った絶品どんぶりが登場します！

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

□

### どんぶりアワードの丼分類

あか牛丼



海鮮丼



天丼



カツ丼



上記の個性豊かな「どんぶり」が多数参加！！

開催日	2025年10月3日（金）～5日（日）
開催時間	10:00～19:00
実施場所	くまもと街なか広場特設会場 熊本県熊本市中央区花畑町7-10
公式HP	<a href="https://www.gourmet.com">https://www.gourmet.com</a> HPより前売り券（100円引き）の購入手続きができます。

※雨天実施予定ですが、天候状況により中止となる場合があります。

※会場へはバス・市電などの公共交通機関をご利用ください。

### お問い合わせ

どんぶりアワード2025実行委員会 担当：山田 井太

TEL：123-2468 FAX：123-1357

# アビリンピック熊本大会 練習問題

ワード・プロセッサ

課題 2 文書（英文）作成

## 令和7年度 アビリンピック熊本大会 ワード・プロセッサ 課題

<課題2>文書（英文）作成競技（制限時間 60分）

60分で、MS Wordによる2ページの文書を作成見本の通りに作成する。

次ページの設問内の番号（①～⑧）は、作成見本の各セクションと対応している。

作成した文書は、必ずデスクトップ上の『ワープロ競技〇〇（〇〇は番号）』フォルダに『WPE2』というファイル名を付けて保存すること。

作成見本にあるセクション番号（①～⑧）は作成・入力する必要はありません。

単語と単語の間には、半角スペースを1つ入れてください。

． ， ！ ？ ； “ 等の後に単語を入力する際は、必ず半角スペースを入れてから入力してください。

**設問は裏面のページです**

## 【設問】

### ◎Microsoft Word を起動し、新規文書へ下記のページ設定を行う

ページ設定	用紙サイズ： A4 横書き 余 白： 上下左右30mm 文 字 数： 30字 行 数： 35行 フォント： MS UI Gothic
-------	--

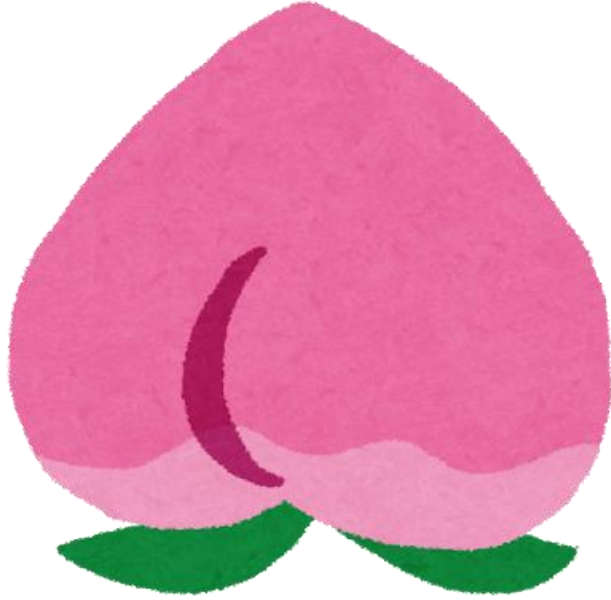
### ◎新規文書へ下記の条件で英文所感を作成する

① ページ罫線	種 類： 囲む 線 の 種 類： 実線 色： 緑 線 の 太 さ： 1.5pt
② 図形の挿入	図 形： 星とりボンの 波線（3行分の高さ） 図形のスタイル： 塗りつぶし-緑、アクセント6
③ テキストの挿入	文字列： Momotaro, or the Story of the Son of a Peach フォント： Arial Black フォントの色： 白 フォントサイズ： 12 配 置： 中央揃え
④ 本文の書式	フォント： MS UI Gothic フォントサイズ： 10.5pt 配 置： 両端揃え
⑤ ドロップキャップ	種 類： 本文中に表示
⑥ 画像挿入	デスクトップ上の『素材フォルダ』フォルダ内の 「fruit_peach.png」を挿入 文字列の折り返し： 四角形 画像の位置・大きさ： 完成例を参照 図のスタイル： 四角形、面取り
⑦ ヘッダー	「Created by Your name」を挿入 フォント： MS UI Gothic フォントサイズ： 11 配 置： 右揃え  ※Your name には自分の氏名を入力 例) 競技者氏名： 熊本花子→Created by Hanako Kumamoto
⑧ フッター	ページ番号を挿入 位 置： ページの下部 種 類： 番号のみ2 下からのフッター位置： 14mm フォント： MS UI Gothic フォントサイズ： 11

なお、設問に指示されていない事柄については、作成例（次ページ）を参考にし、同じイメージとなるように作成すること。

文書（英文）素材（図）

ファイル名 『fruit\_peach.png』



①

Create by Hanako Kumamoto

⑦

②

③

## Momotaro, or the Story of the Son of a Peach

④

⑤

Long, long ago there lived, an old man and an old woman; they were peasants, and had to work hard to earn their daily rice. The old man used to go and cut grass for the farmers around, and while he was gone the old woman, his wife, did the work of the house and worked in their own little rice field.

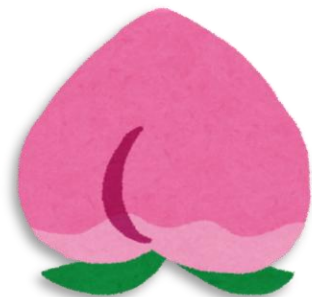
One day the old man went to the hills as usual to cut grass and the old woman took some clothes to the river to wash.

It was nearly summer, and the country was very beautiful to see in its fresh greenness as the two old people went on their way to work. The grass on the banks of the river looked like emerald velvet, and the pussy willows along the edge of the water were shaking out their soft tassels.

The breezes blew and ruffled the smooth surface of the water into wavelets, and passing on touched the cheeks of the old couple who, for some reason they could not explain, felt very happy that morning.

The old woman at last found a nice spot by the river bank and put her basket down. Then she set to work to wash the clothes; she took them one by one out of the basket and washed them in the river and rubbed them on the stones. The water was as clear as crystal, and she could see the tiny fish swimming to and for, and the pebbles at the bottom.

As she was busy washing her clothes a great peach came bumping down the stream. The old woman looked up from her work and saw this large peach. She was sixty years of age, yet in all her life she had never seen such a big peach as this.



⑥

“How delicious that peach must be!” she said to herself. “I must certainly get it and take it home to my old man.”

She stretched out her arm to try and get it, but it was quite out of her reach. She looked about for a stick, but there was not one to be seen, and if she went to look for one she would lose the peach.

Stopping a moment to think what she would do, she remembered an old charm-verse. Now she began to clap her hands to keep time to the rolling of the peach down stream, and while she clapped she sang this song:

Strange to say, as soon as she began to repeat this little song the peach began to come nearer and nearer the bank where the old woman was standing, till at last it stopped just in front of her so that she was able to take it up in her hands. The old woman was delighted. She could not go on with her work, so happy and excited was she, so she put all the clothes back in her bamboo basket, and with the basket on her back and the peach in her hand she hurried homewards.